

## 食品・飲料容器包装分野のプラスチックリサイクル技術とその課題

## 講師：住本 充弘 氏 / 住本技術士事務所 所長

世界は循環型パッケージに向けて進んでいる。中でもプラスチック包装は課題も多いが、ケミカルリサイクルで再生再利用の方向に注力されている。メカニカルリサイクルの再生再利用もあるが、PET ボトルを除いては店頭回収品での実証実験であり、通常の回収ではこれから検証であり課題も多い。包装設計段階で再生利用性必須の検討課題であるが、回収包材の再生再利用の整備がまだ整っていない。国内では容リ法とプラ資源循環法で回収であるが課題も多い。ケミカルリサイクルはいくつかの種類があり、本命はどれか判断が難しい。世界及び日本はどのような方向に向かっているのか具体的な対応事例を挙げて説明し、現在の課題と今後どのようにするのが良いのかを予測する。

## 【講師経歴】

《略歴》2004年にDNPを定年退社し現在は包装コンサルタントとして活動中。海外の主な展示会視察、海外企業の包装指導、国内外で講演など多数。

《活動》JPI 包装技術便覧の執筆及び編委委員、業界誌に執筆多数

《所属学会》・日本包装学会 ・日本包装コンサルタント協会 ・日本技術士会 ・技術士包装物流会

開催日時	2022年10月25日(火) 13:30~16:30	※本セミナーは、 <b>当日ビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。</b> 推奨環境は当該ツールをご参照ください。後日、視聴用のURLを別途メールにてご連絡いたします。
受講料	44,000円(税込) ※資料付 *メルマガ登録者 39,600円(税込) *アカデミック価格 26,400円(税込)	

\*アカデミック価格:学校教育法にて規定された国、地方公共団体、および学校法人格を有する大学、大学院の教員、学生に限りです。

★【メルマガ会員特典】2名以上同時申込かつ申込者全員がメルマガ会員登録していただいた場合、1名あたりの参加費がメルマガ会員価格の半額となります。★【対象者】包装ビジネスに携わる営業、工場関係者、開発者 ★【得られる知識】 循環型パッケージ、循環型ポリマーの世界の状況、ケミカルリサイクルの現状

## 【本ウェビナーのプログラム】

※適宜休憩が入ります。

1. 包装の大きなトレンド 現在及び今後の包装はどのような動きをしているかを理解	(3) 超臨界タイプ (4) PET ボトルの再生処理技術 ・メカニカルリサイクル ・ケミカルリサイクル ・酵素分解リサイクル	6.2 rPP 容器 6.3 rPE 利用軟包材
2. 循環型パッケージへの対応(回収し再生再利用のパッケージ) 2.1 なぜ循環型パッケージが必要か 2.2 循環型プラスチックの必要性 2.3 循環型プラスチックの現状 2.4 回収プラスチック包材の再生再利用技術 2.5 回収・選別システム事例: sorting 技術事例、英国 Recycleye 社	3.3 溶剤利用剥離技術	7. 軟包装材料の国内外の最新動向 7.1 OPP の A1203 蒸着フィルム 7.2 新しい OPP フィルム 7.3 Bio-based Polymers の利用 7.4 食品包材の回収・再生再利用技術の EU 事例 (NEXTLOOP 他) 7.5 Certified Resins 採用事例コンボスタブル及び生分解性樹脂の課題
3. プラスチック再生技術・循環型プラスチックの課題 3.1 メカニカルリサイクルの課題と再生法の新技术 3.2 ケミカルリサイクルの各技術と課題 (1) 熱分解タイプ (2) ガス化タイプ	4. プラスチック包装材料のリサイクルの現状と課題 4.1 廃プラの収集、プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律 4.2 FDA、EFSA の対応 4.3 紙を含む包装仕様の対応	8. 無駄なリサイクル量を減らすための小ロット対策 無駄なプラスチック包材の廃棄量削減と包材製造工程の進歩 包材製造時の CO <sub>2</sub> 排出量削減を求める動き 9. 英国及び EU の 30%再生樹脂の使用の影響 まとめ Q&A
	5. プラスチック製の包装の Recyclable とは 5.1 Recyclable 認定基準 5.2 認定された Recyclable Packages の事例 5.3 認定機関がない国内の対応事例	
	6. 循環型プラスチックの採用事例 6.1 rPET ボトル	

弊社記入欄

## ウェビナー申込書

セミナー名

食品・飲料容器包装分野のプラスチックリサイクル技術とその課題

所定の事項にご記入下さい

会社名(団体名)

TEL:

住所

FAX:

メルマガ会員、登録希望の場合は○↓

E-mail:

会員登録済み

新規登録希望

部署

役職

氏名

お支払方法

銀行振込・その他

お支払予定

2022年 月 日頃

■申込方法: セミナー申込書にご記入の上 FAX、E-mail(re@cmcre.com)でお申し込みください。

■申込先: (株)シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町2-7 TEL03-3293-7053

■本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧になれます。⇒ <http://www.cmcre.com>

参加申込 FAX 番号

03-3291-5789

## 食品・飲料容器包装分野のプラスチックリサイクル技術とその課題

### 講師：住本 充弘 氏/住本技術士事務所 所長

当該セミナーは、**ライブ配信のウェビナー（オンラインセミナー）**です！

#### 【ライブ配信対応セミナー】

・本セミナーはビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。

お申し込み前に、下記リンクから視聴環境をご確認ください。

→ <https://zoom.us/test>

・当日はリアルタイムで講師へのご質問も可能です。

・タブレットやスマートフォンでも視聴できます。

・お手元のPC等にカメラ、マイク等がなくてもご視聴いただけます。この場合、音声での質問はできませんが、チャット機能、Q&A機能はご利用いただけます。

・ただし、セミナー中の質問形式や講師との個別のやり取りは講師の判断によります。ご了承ください。

・「Zoom」についてはこちら↓をご参照ください。

<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

#### 【お申込み後の流れ】

・開催前日までに、ウェビナー事前登録用のメールをお送りいたします。お手数ですがお名前とメールアドレスのご登録をお願いいたします。

・事前登録完了後、ウェビナー参加用 URL をお送りいたします。

・セミナー開催日時に、参加用 URL よりログインいただき、ご視聴ください。

・講師に了解を得た場合には資料を PDF で配布いたしますが、参加者のみのご利用に限定いたします。他の方への転送、WEB への掲載などは固く禁じます。

・資料を冊子で配布する場合は、事前にご登録のご住所に発送いたします。開催日時に間に合わない場合には、後日お送りするなどの方法で対応いたします。

#### 【注意事項】

・本セミナーの受講にあたっての推奨環境は「Zoom」に依存します。受講者の方のお手元の PC などの設定や通信環境が受信の状況に大きく影響いたしますので、ご自分の環境が対応しているか、お申し込み前の確認をお勧めいたします。

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC->

MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6

・Zoom クライアントは最新版にアップデートして使用してください。

・インターネット経由でのライブ中継ですので、回線状態などにより、画像や音声が悪化する場合があります。また、状況によっては、講義を中断し、再接続して再開する場合がありますが、予めご了承ください。

・万が一、当社や講師側（開催側）のインターネット回線状況や設備機材の不具合により、開催を中止した場合には、受講料の返金や、状況により後日録画を提供すること等で対応させていただきます。

・本セミナーはお申し込みいただいた方のみ受講いただけます。

複数端末から同時に視聴することや複数人での視聴は禁止いたします。

・受講中の録音・撮影等は固く禁じます。

・Zoom のグループにパスワードを設定しています。お申込者以外の参加を防ぐため、パスワードを外部に漏洩しないでください。

万が一外部者が侵入した場合は管理者側で部外者の退出あるいはセミナーを終了いたします。